

# 令和5年度補正 品目団体輸出力強化緊急支援事業

## 米国におけるメロンのプロモーション 及び市場調査

静岡県温室農業協同組合  
クラウンメロン支所

# A:米国、メロン（クラウンメロン）

出張期間 2025年1月16日から25日

## 出張行程

月日	時間	場所	内容	備考
1/16 (木)	午後	自宅 → 羽田空港	出発	
1/17 (金)	午前 0:50	羽田 → ロサンゼルス	移動	NH106便
1/17 (金)	終日	ロサンゼルス周辺	商談	
	午後 10:42	ロサンゼルス → ラスベガス	移動	UA1546便
1/18 (土)	午後	ラスベガスコンベンションセンター	展示会準備	
1/19 (日) ~21 (火)	終日	ラスベガスコンベンションセンター	展示会出展	Winter Fancy Food Show
1/22 (水)	午前 6:00	ラスベガス → ポートランド	移動	AS1089便
	午前	在ポートランド日本国総領事館	挨拶	
	午後	ヒルズボロ市役所	市長表敬	
1/23 (木)	終日	ポートランド周辺	商談、同行営業	
1/24 (金)	午前 11:50	ポートランド → 羽田	帰国	AS970便、NH117便
1/25 (土)	午後 7:15	羽田空港	帰国	

# A:米国、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2025年1月16日から25日）

## 1 販路拡大に向けた展示会への出展及び訪問商談の実施

- ・ 1月19日から21日にラスベガスで開催された食品見本市「Winter Fancy Food Show」へ出展し、来場者に対してクラウンメロンの紹介を行った。
- ・ 展示会の前後において、ロサンゼルス、ポートランドへ訪問し、現地の取引先候補を訪問しての商談を実施した。
- ・ ポートランド近郊にあるヒルズボロ市が、弊所の地元である袋井市と姉妹都市であることから、今回ヒルズボロ市にて同市の市長と面談し、クラウンメロンの紹介と、今後の販路開拓の支援を依頼した。



写真左：  
展示会に出展した弊所のブース

写真中：  
ポートランドの輸入業者を訪問  
して商談を実施

写真右：  
ヒルズボロ市の市長へ袋井市の  
職員とともに訪問

# B:米国、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2025年1月16日から25日）

## 2 米国での市場調査

- ・米国の消費者がイメージするメロンは「カンタロープ」（ネット模様のある赤肉メロン）か「ハネデュー」（ネット模様のない青肉メロン）のどちらかで、クラウンメロンについても、これはどちらのメロンなのかと聞かれることが多い。どちらも米国のスーパーでは1玉10ドル程度で売られている。
- ・クラウンメロンを継続して取り扱っているロサンゼルスのお店では、現地中華系を中心に年中安定した需要があるとのこと。クラウンメロン以外に、日本産のイチゴも仕入れたいとの話があった。



写真左：  
現地スーパーの棚に並ぶメキシコ産のカンタロープメロンとハネデューメロン

写真右：  
現地のクラウンメロン取扱店舗の棚  
1玉だけ残っており、他は完売したとのこと

# C:米国、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2025年1月16日から25日）

## 3 米国事業総括

- ・ 2021年11月に日本産メロンが輸入解禁になって以降、積極的なプロモーションの甲斐もあってか、現地でのクラウンメロンの認知度は徐々に上がっていると感じている。展示会でも、既にクラウンメロンを知っている様子の来場者が昨年以上に多く感じた。試食では総じて好評で、価格を伝えても受け入れられそうな反応であった。
- ・ 輸出開始当初はロサンゼルスとニューヨーク向けから始めたが、最近はその以外の米国内の大都市にも販路が広がりつつある。日本産の品質の良いものを使用したいという需要はレストラン・小売店ともに確かに存在しているため、現地ディストリビューターとの関係を強化しつつ継続した営業活動を行い、更なる販路の拡大を目指したい。